

調布の

清掃作業員さんに聞きました!

part3



今回インタビューを受けていただいた佐々木さんです。
ご趣味は、映画や音楽鑑賞で、休日にはご自宅のホームシアターで映画を観てリラックスしているそうです♪それではお話を聞いてみましょう(^^) /

古紙回収事業者にインタビュー

調布市の各家庭から出される段ボールや新聞などの古紙類。今回は、むさし野紙業株式会社の佐々木さんにお話を聞きました。

どういった作業をしていますか？

市や、業者の方が回収した古紙類の受入れを行い、リサイクルに向けて種類ごとにバール加工（梱包）後、製紙会社へ出荷しています。

コロナ禍の影響を感じますか？

巣ごもり生活をされていることで、特に通販サイトの段ボールが極端に増えていることです。

作業をしていて特に大変なことは何ですか？

古紙の中にピザの箱やカバン・靴の詰め物など、リサイクル出来ないものが混ざっている場合は、手作業で撤去しなくてはなりません。包丁やガラス片等が混ざっていることもあり、怪我をしてしまう危険もあります。

佐々木さんが日頃、行っているごみ減量への心掛けを教えてください。

分別徹底がごみ減量の基本なので、可燃ごみやプラスチック、資源物など、ごみ全般の分別を心掛けています。プリンターのインクカートリッジも拠点回収に持ち込みますし、持ち込むまでのストック用の保存箱を手作りして生活に取り入れやすくするなど、工夫しながら行っています。



むさし野紙業に持込まれた古紙類の山



作業中の様子

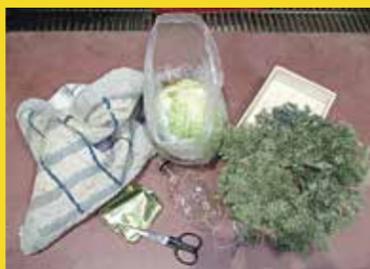
最後に、市民の皆さんに一言お願いします！

分別や選別を難しく考えないでください。調布市には使いやすい「ごみアプリ」(右記QRコードからダウンロードできます)もあります。分別で悩んだらアプリを開き、クイズ感覚で排出方法を確認してみてください!



やりがいを感じるのはどんな時ですか？

毎日、大量の古紙類が持込まれます。分別されなければただのごみになってしまう古紙類を、選別・バール化して製紙会社へ出荷を行うことで、適切にリサイクルがなされ、資源を循環させることが出来ます。あまり表に出ることはない仕事ですが、資源の有効利用により、未来の地球を守る大切な仕事と思っています。



丸ごとのキャベツや刃物、古いシーツなど



紙袋の中に入っていた使用済みオムツ、ビニール梱包材

収集された古紙に混入していた異物

異物が混入することにより、古紙類の再資源化の妨げになるだけでなく、作業員の怪我にもつながりかねません。正しい分別の徹底をお願いします!

資源物地域集団回収 新規団体募集中

資源物地域集団回収を始めませんか？

集団回収とは、自治会や学校のPTA、マンションの管理組合などのグループが、新聞や段ボール、雑誌、ビン、缶など資源として再利用出来るものを回収して資源回収業者に引き渡す、自主的な資源回収活動です。回収した資源物の引き渡し量に応じて、回収団体に **1キログラムあたり8円の奨励金を交付**しています。

集団回収には、こんなメリットがあります！

- ・地域行事などの活動資金として活用することができる。
- ・地域のコミュニケーションが活発になる。
- ・良質な資源が効率よく回収できることで、資源の有効利用が促進される。

お住まいの地域で、集団回収を始めてみませんか？
みなさまの積極的なご参加をお願いします！

※団体登録や奨励金の申請方法の詳細はごみ対策課
☎ 042-306-8781 までお問い合わせください。

